

## 平成30年度 第3回国立市環境審議会 会議録（要点筆記）

開催日時	平成30年9月18日（火）午後7時～8時20分
開催場所	市役所3階 第3・4会議室
出席者	亀山会長、服部委員、倉本委員、野村委員、佐伯委員、田中委員、橋本委員、大塩委員、石川委員、扇田委員、事務局（清水環境政策課長、長野環境政策係長）
欠席者	松本委員
記録・受付	環境政策係木村主事、岡埜主事
傍聴人	なし

### 1. 前回までの意見とそれに対する対応

#### 【事務局説明】

前回までの環境審議会での意見と対応について説明した。

【亀山会長】内容について、意見はあるか。（特に意見なし）

意見がないなら、この内容で認める。（一同異議なし）

### 2. 答申書案について

#### 【事務局説明】

答申書案について説明した。

【亀山会長】この答申書案の内容について意見はないか。

【大塩委員】P3、5 答申の文章が弱いのではないか。「今後改善されることが～」の中に、今後一層改善されることが～」という文言を入れて強調すべき。

【亀山会長】では「一層」という文言を加える。

【田中委員】P2、1 審議の経過に記載されている「計画内容の見直しが妥当かどうか」とあるが、「計画内容の見直しが必要かどうか」ではないか。

【亀山会長】ではそのように修正する。この内容でよろしいか。（一同異議なし）

【事務局】文章の微調整に関しては会長、事務局に一任していただけますか。（一同異議なし）

【亀山会長】今後の予定は。

【事務局】10月10日に市長に答申予定です。会長から市長に答申書を渡してもらいます。

### 3. くにたち温暖化対策プロジェクトチーム報告書について

#### 【事務局説明】

くにたち温暖化対策プロジェクトチーム報告書について説明。

【亀山会長】節電に努めましょうという話になると思う。

【事務局】庁舎もLED化しています。今後は家庭にも呼び掛けていきたいと考えます。

【野村委員】報告書の日付が8月となっており、既に完成しているため、この場で意見を言っても反映されないのではないか。

【事務局】この報告書を元にこれからアクションプランを作成します。そちらに反映していきます。

【野村委員】P.3のデータは意味がない数字になっている。単位面積、住居数、企業数や人口などから分析した数値を掲載しないと意味がないと思う。

【事務局】分析は行ってみました。個々の自治体で状況が異なり、指標となるようなものを作ることは出来ませんでした。掲載することで市民に誤解を招く可能性がありましたので割愛しました。

【服部委員】再生可能エネルギーに国としてももう少し力を入れていけば、エネルギー使用量が変わっていたと思う。例えば、全国に地熱発電所は16箇所ある。地熱発電はマグマの熱を利用して発電するもの。一方、地中熱は国立市の地下温度は約16～17度であり、冷暖房に地上と地下の温度差を利用する。北欧やアメリカ、中国など海外では、冷暖房に地中熱を広く利用しているが、日本は遅れている。地中熱利用もこの報告書に記載してほしい。地中熱を利用することで、節電効果は高くなり、地球温暖化防止に貢献する。地中熱の勉強会をしてほしい。地中熱を利用すれば、今の冷暖房の電気使用量が約半分になる。自治体でも春日部市や横浜市、民間では立川のイケアでも導入している。庁舎でも地中熱を導入してほしい。

【倉本委員】P.11、「公園に木を植えてプレート等表示」と記載されているが、これは木を植えることはいいことだという考えに基づいているのだろう。しかし、問題が2つあり、ひとつ目はそもそも木を植える必要がある場所なのかということ、二つ目は個人と植えた木が紐づけられた場合、伐採などがしにくくなること。例えば、昭和記念公園では、個々の木ではなく、その辺り一帯の木を対象としており、個人ではなく団体と紐づけている。

【田中委員】P.13に数値目標について記載されているが、数値目標の設定方法には、あるべき姿から最初に目標数値を設定して、その数値を達成するために何をすべきか考える『バックカスティング』と、過去のデータや実績などに基づき、現状の対策を積み上げて数値を設定する『フォアカスティング』という方法があるが、フォアカスティングだと国や都が設定した数値目標よりも低くなってしまいう可能性もあるのではないか。他の自治体でもバックカスティングで数値目標を設定しているところが多いと思う。

【大塩委員】P.2に窒素の量が記載されているが、根拠はどこにあるのか。どのように算出しているのか。

【服部委員】環境省が出している一覧があり、どのような業種からどのような温室効果ガスが出ているのか計算する方法が決められている。

【大塩委員】地中熱について発電は出来るのか。

【服部委員】温度差で発電するのはまだ難しい。地下と地上の温度差で冷暖房に利用できる。夏の暑さを蓄熱し、冬に使えば節電につながる。季節の変動を上手く利用したい。

以上